

## イベント情報

### ●第20回花嫁のれん展

情緒あふれる一本杉通りに、嫁ぐ子への願いを込めた華やかな「花嫁のれん」が揺れる春の風物詩です。  
 日 時：令和8年4月29日（水・祝）～5月10日（日）※時間はそれぞれの店舗によって異なります  
 場 所：一本杉通り商店街  
 【お問合せ】花嫁のれん館 ☎0767-53-8743

### ●花嫁のれん館 第59回企画展「私にとっての花嫁のれん」

令和の花嫁のれんをはじめ、満開に咲く桜を描いた加賀友禅ののれんなどこの時期だけしか見ることのできない貴重な花嫁のれんの数々を展示。  
 日 時：令和8年4月1日（水）～6月30日（火） 9:00～17:00（入館は16:30まで）  
 場 所：花嫁のれん館 企画展示室  
 入館料：高校生以上550円、小中学生250円  
 【お問合せ】花嫁のれん館 ☎0767-53-8743

### ●のどじま水族館

子供の日、中学生以下無料  
 日 時：令和8年5月5日（火・祝） 9:00～17:00（入館は16:30まで）  
 場 所：のどじま水族館  
 【お問合せ】のどじま水族館 ☎0767-84-1271

### ●でか山茶会

お祭りにぎわいを楽しみ、ひとときお茶を一服味わいましょう。  
 日 時：令和8年5月5日（火・祝） 9:00～14:00受付  
 場 所：願正寺（松木町）表千家流三室社中／寄り合い処 みそぎ（一本杉町）茶道裏千家七青会  
 料 金：2席3,000円  
 【お問合せ】お茶の上林 ☎0767-53-4117

### ●「こども山」イベント

青柏祭でか山の1/4サイズの「こども山」をひっぱりすることができます。たくさんのキッチンカーやフラダンス、よさこいイベントも開催。  
 日 時：令和8年5月5日（火・祝） ①10:30～ ②11:15～  
 場 所：パトリア・ミナクル  
 参加対象：小学生以下  
 【お問合せ】(株)ののと ☎0767-53-2020

### ●ざいづくり体験教室

木遣り衆等が手に持って振る縁起の良い祭り道具を作ります。  
 日 時：令和8年4月29日（水・祝） ①10:00～ ②14:00～  
 場 所：和倉温泉お祭り会館  
 料 金：1本1,000円（要予約）  
 【お問合せ】(一社)ななお・なかのとDMO ☎0767-62-0900



ご予約はこちらから

### ●青柏祭を知ろうウィーク

青柏祭のクイズにチャレンジして、青柏祭についてもっと詳しくなろう！  
 日 時：令和8年4月25日（土）～5月6日（水・祝） 9:00～17:00（最終入館16:30）  
 場 所：和倉温泉お祭り会館  
 入館料：一般800円、小中400円  
 【お問合せ】(一社)ななお・なかのとDMO ☎0767-62-0900

### ●七美コレクションダイアリー ～収蔵品でつづる30年～

開館30周年を迎えた七尾美術館。当館のこれまでの活動を収蔵品約80点をとおして紹介します。  
 日 時：令和8年2月21日（土）～令和8年5月24日（日） 9:00～17:00  
 休館日：毎週月曜日（5/4は開館）、4/21～4/24、4/30、5/7  
 場 所：石川県七尾美術館  
 【お問合せ】石川県七尾美術館 ☎0767-53-1500

### ●NON GLASS and GLASS 七美×ガラ美

市制21周年・財団11周年記念特別展。ガラス作品、絵画、工芸、彫刻…、なぜ違う材質・表現の作品が並んでいるの？本展を通じて、ガラス芸術のさらなる魅力に迫ります。  
 日 時：令和8年2月14日（土）～6月7日（日） 9:00～17:00  
 休館日：毎月第3火曜日、4/13  
 場 所：石川県能登島ガラス美術館  
 【お問合せ】石川県能登島ガラス美術館 ☎0767-84-1175

### ●ガルガンチュア音楽祭2026

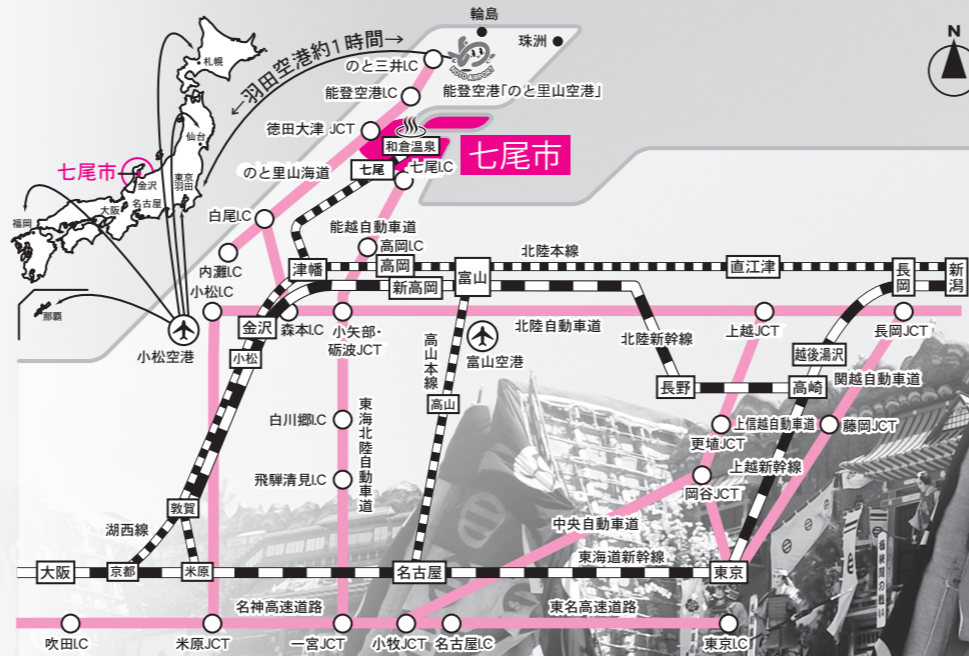
能登演劇堂公演 ～能登復興応援コンサート・未来につなぐ～

■プログラム  
 第1部：仲達達氏を偲んで  
 第2部：スギヨ・タイム ビタミンちくわ体操  
 第3部：未来につなぐ歌声  
 ■出演  
 益岡徹／池辺晋一郎／仲谷響子／大野由加／前川コタロウ&ヒロユキ  
 日 時：令和8年5月2日（土）開演 13:30  
 場 所：能登演劇堂  
 入場料：自由席 1,000円（未就学児入場無料）※0歳児から入場できます。  
 【お問合せ】(公財)演劇のまち振興事業団 ☎0767-66-2323



ご予約はこちらから

## 交通アクセス



### ●JR利用

東京から／北陸新幹線「かがやき」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 ..... 約3時間30分

大阪から／特急「サンダーバード」で敦賀乗り換え・北陸新幹線「つるぎ」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 ..... 約3時間50分

名古屋から／東海道新幹線「ひかり」または特急「しらすぎ」で敦賀乗り換え・北陸新幹線「つるぎ」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 ..... 約3時間30分

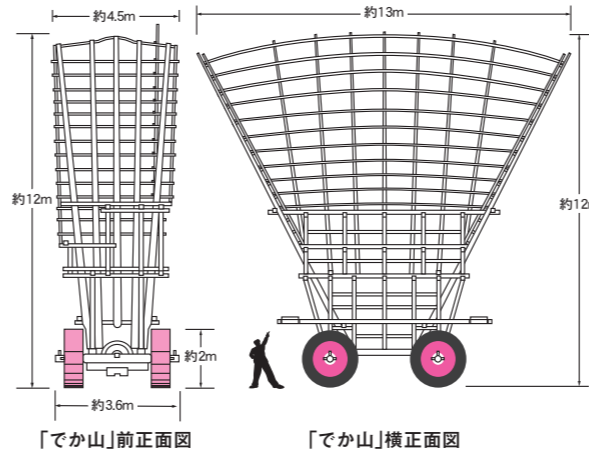
## でか山略解説

若葉が薫る5月には、七尾では恒例の青柏祭が執行され、大地主神社に3台のでか山が奉納されます。

このでか山は大変古い伝統を継承するもので、昭和58年（1983）「青柏祭の曳山行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年（2016）には、でか山を含めた全国33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されています。

「でか山」と呼ばれる巨大な山車には、舞台飾りの場面のどこかに一本の若松を立てて、神々の降臨を仰ぎ、事業の発展や諸々の悪疫の退散を祈り、併せて日々の豊かな暮らしも祈念します。

このように来る年毎に神々を迎え入れて祈念する美しい習慣が、何百年も伝えられていることは、七尾の人々の大きな誇りの一つでもあります。この「でか山」には、人々が社会生活を営む上で大切な心の持ち方を教えている古い芝居の名場面を飾って、その年の心掛けの一つとしています。



### お問い合わせ

〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地  
**七尾市産業文化スポーツ部交流推進課**  
 TEL (0767) 53-8424 FAX (0767) 52-2812 E-mail: koryu-s@city.nanao.lg.jp



能登七尾

せい はく さい

# 青柏祭

SEIHAKUSAI DEKAYAMA IN NANAO

# でか山

令和8年

# 5月2・3・4・5日

(人形見) (午後9時から)

ユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」 国指定重要無形民俗文化財「青柏祭の曳山行事」

七尾市・青柏祭でか山保存会

でか山位置情報・駐車場・交通規制などについて、詳細はこちらからご確認ください。



# 令和8年度 青柏祭に係る各山町運行時間

	鍛冶町	府中町	魚町
1日(金)	20:00 大地主神社境内～鍛冶町三差路曳出し(試運行)	19:00 印鑰神社～大手町角曳出し(試運行)	
	23:00 鍛冶町三差路着(見附)	20:00 印鑰神社前着	
2日(土)	8:00 飾り付け(鍛冶町三差路)	8:00 飾り付け(印鑰神社前)	15:00 御祓地区コミュニティセンター～一本杉公園入り口(試運行)
			17:00 御祓地区コミュニティセンター前
3日(日)	21:00 鍛冶町三差路祭礼【宵山】	8:00 飾り付け(印鑰神社前)	8:00 飾り付け(御祓地区コミュニティセンター)
	21:30 鍛冶町三差路曳出し(花火合図)		19:00 お籠もり(気多本宮神社)
	23:30 大地主神社境内着		
4日(月)		0:00 印鑰神社祭礼	
		1:00 印鑰神社境内曳出し(花火合図)【朝山】	7:00 (花火合図)
			7:10 魚町見附祭礼
			8:00 魚町見附曳出し【本山】花火合図
			12:30 大地主神社境内着
		三台勢揃い	
		15:30 大地主神社境内曳出し【戻り山】	14:00 大地主神社境内曳出し【戻り山】
			18:15 一本杉通り仮設商店街交差点着
		16:00 大地主神社境内曳出し【送り山】	18:40 〃曳出し
		19:30 鍛冶町三差路着(瀬川薬局前)	19:00 魚町見附着
5日(火)	7:00 鍛冶町三差路曳出し【裏山】	19:30 大手町角着	
			9:00 魚町見附曳出し【裏山】
			9:30 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行)
	10:00 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行)	9:00 大手町角曳出し【裏山】	
	11:00 能登食祭市場前着(臨港道路)	9:15 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行)	
		10:00 能登食祭市場前着	
		11:10 稚児奉幣待ち神事【でか山前】	
		三台勢揃い(11:00～11:20予定)	
	11:30 能登食祭市場前曳出し	11:40 能登食祭市場前曳出し	
	12:00 七尾駅北交差点前着	12:00 臨港道路通行止め解除	
		12:30 七尾駅北交差点前着	
		三台勢揃い(12:30～12:45予定)	
	12:50 七尾駅北交差点前曳出し	12:45 七尾駅北交差点前曳出し	
	13:10 御祓川仙対橋着	13:05 御祓川仙対橋	
	13:40 御祓川仙対橋曳出し	「はるなお駐車場」前着	13:40 パトリア・ミナ・クル前曳出し
14:10 魚町見附着		14:00 御祓川仙対橋着	
14:50 魚町見附曳出し		「しるべ蔵」前着	
15:20 御祓川仙対橋着			
	三台勢揃い(15:20～15:30予定)		
15:30 御祓川仙対橋曳出し	16:20 「はるなお駐車場」前曳出し	15:40 「しるべ蔵」前曳出し	
		大榎子(辻廻し)	
	17:50 魚町見附着	17:40 松本町着	
	18:10 魚町見附曳出し		
	19:00 木遣道中唄～仙対橋通過		
	19:20 大手町角着	19:00 松本町曳出し	
20:30 鍛冶町三差路着(見附)	21:00 大榎子(辻廻し)披露		
21:30 鍛冶町三差路曳出し	21:30 大手町角曳出し【女山】	21:00 御祓地区コミュニティセンター曳入れ	
23:30 大地主神社境内到着【納め山】	23:00 印鑰神社境内到着		

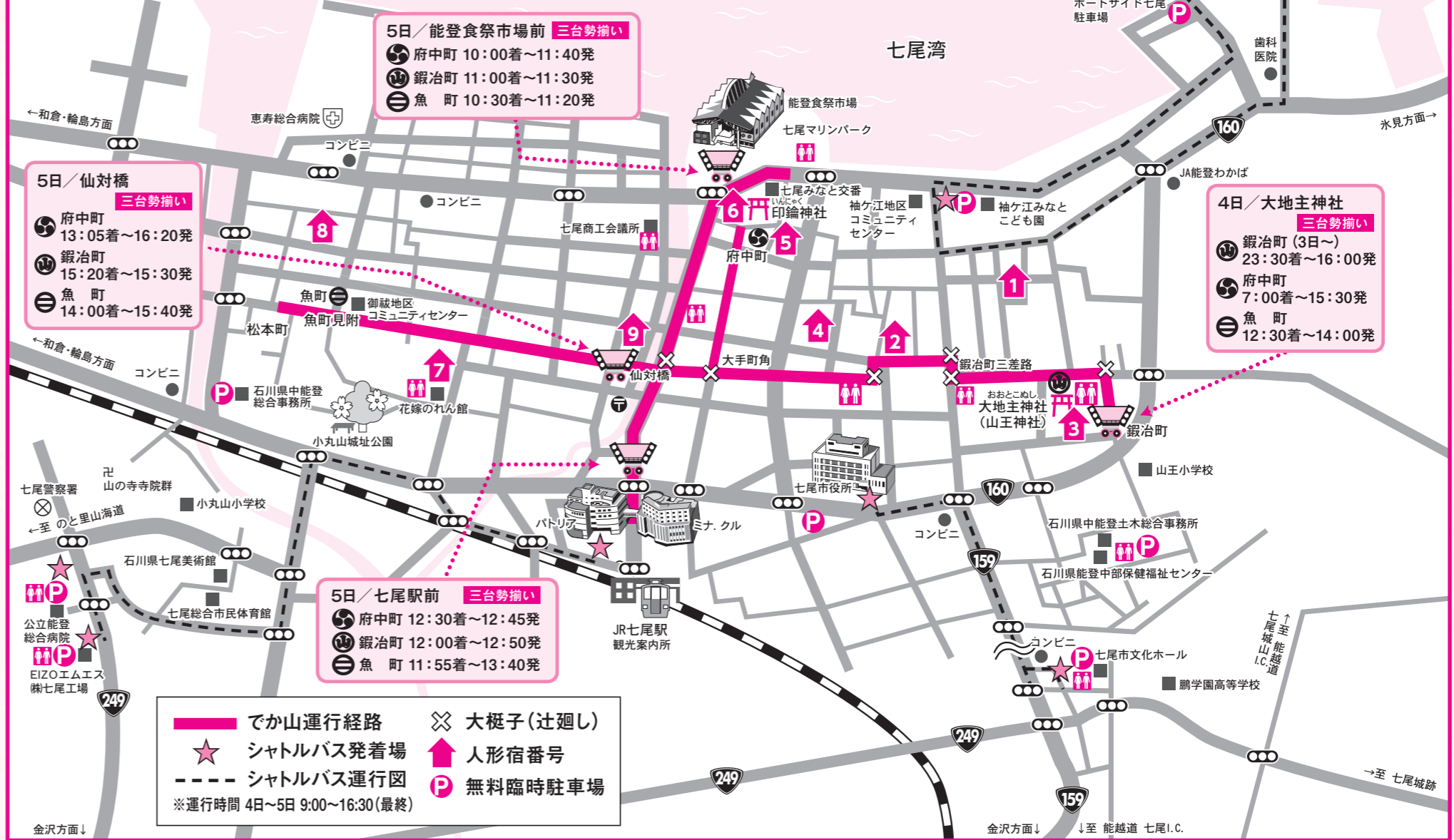
## 【はじまり】

青柏祭は、平安時代の天元4年(981)に時の国主源順(みなもとのしたごう)が能登の国祭りとして定めたのが始まりと言われる。能登畠山氏3代城主義統は、京文化の移入に熱心で、京の祇園山鉦にならって文明5年(1473)国祭りの青柏祭に曳山(山車)を奉納したが、でか山の始まりと伝えられている。江戸時代の一時期には曳山の高さは18mもあった。

## 【みどころ・大榎子(辻廻し)】

狭い街角で、巨大な曳山を方向転換させるシーンは見逃せない。掛け声も勇ましく長さ8mの大榎子に若連中が鈴なりになって曳山の前車輪を浮かせ、地車を入れて辻を曲がる。

# でか山(青柏祭の曳山行事)運行図と人形宿



# 令和8年度 青柏祭 人形見・人形宿(5月2日)夕刻

## 鍛冶町

### 三人吉三巴白波 大川端の場

お嬢吉三・お坊吉三・和尚吉三

「こいつあ春から縁起がいいわ」  
百両を手に女装の盗賊・お嬢吉三は大川端でほくそ笑んだ――。  
節分の夜。落とし主を探し歩く夜鷹からお嬢吉三は財布を奪い取った。夜鷹を川へ蹴落とす。一部始終を覗き見た浪人のお坊吉三が金を横取りしようとする。二人は激しく争う。通りがかりの和尚吉三が仲裁に入った。同じ名を持つ三人のお尋ね者は、血盃で義兄弟の契りを結ぶ。財布の百両は兄貴分の和尚吉三が預かることに。この出会いが悲劇を生む。  
お嬢吉三に蹴落とされた夜鷹は和尚の妹だと明らかになる。お坊吉三は、相手を和尚の父と知らずに斬り殺してしまう。お嬢、お坊は自らの行いを悔いて死のうとした。和尚吉三は因果応報にひどく気づく。殺された父は、かつて悪事によってお坊の父を切腹に追い込んでいた。義兄弟二人の自害を和尚は思いとどまらせた。  
逃亡の果て、三人吉三は捕手に囲まれた。雪の中三つ巴に刺し違える。

番号	人形名	人形当番宅
1	お嬢吉三	湊町二丁目東部/橋本 幸喜知 宅
2	和尚吉三	塗師町/旧坂本薬局
3	お坊吉三	山王町/大地主神社 山王閣

## 府中町

### 江戸城 大奥 黎明期

春日局・お江与の方・徳川秀忠

「若君は、わらわが立派な将軍にお育てしましょうぞ」  
初めて竹千代に乳を与えたおふくは心に誓った――。  
おふく(後の春日局)は武家生まれ公家育ちの器量を徳川家康に見込まれる。二代将軍秀忠の嫡男・竹千代の乳母となった。秀忠の正室・お江与の方はおふくを敵視する。お江与は織田信長の妹・お市を母に持つ。おふくの父は信長を裏切った明智光秀の重臣。お江与の中でおふくは伯父の仇に連なっていた。おふくになつ竹千代をお江与は疎む。次男・国千代を世継ぎにしようとなりふり構わず動く。城内は竹千代派、国千代派に分かれて対立の気配を見せる。おふくは駿府の大御所・家康のもとへ。長幼の序こそが徳川家の安定につながると訴えた。おふくの思いに添えて家康は江戸城へ赴く。世継ぎには竹千代をと言いつつ渡した。  
竹千代は元服、徳川家光に。元和9年(1623) 晴れて三代将軍となった。これよりおふくの意見を取り入れて大奥の制度が整えられていく。

番号	人形名	人形当番宅
4	春日局	作事町/松井忠史・松井敏史 宅
5	徳川秀忠	府中町/平田神仏具店
6	お江与の方	府中町/印鑰神社 社務所

## 魚町

### 本能寺の場

織田信長・明智光秀・森蘭丸

「是非に及ばず」  
明智光秀の謀反を伝える小姓・森蘭丸に織田信長は短く返した――。  
天正10年(1582)6月2日未明。信長の宿所・京都本能寺は一万余の軍勢に包囲された。信長は天下を手中に収めつつあった。あらゆる権威を信長は否定する。「魔王」とも呼ばれる姿勢は重臣の光秀さえ理解に苦しんだ。朝廷をはじめ、抗う旧勢力の側に立って光秀は兵をあげた。光秀なりの大義名分はあった。  
明智勢は境内へなだれ込んだ。蘭丸らわずかの護衛が死に物狂いで闘う。高橋の信長も応戦するが、たちまち追い詰められた。信長は納戸で端座、腹を切る。うずまく炎の中、四十九年の生涯を閉じた。  
「是非に及ばず」――良いも悪いもない。  
思いもよらぬ反乱にも信長はうろたえなかった。戦国の世のならないと受け止めた。信長の最期の願いは、死に花を咲かせることにあった。

番号	人形名	人形当番宅
7	織田信長	馬出町/寄合い処 みそぎ
8	明智光秀	富岡町/西部集会所
9	森蘭丸	生駒町/麵の華